

# 令和4年度 神金小学校の教育

## 《基本目標》 『心豊かで、たくましい子どもの育成』

～めあてに向かって努力する神小の子～

### 《 具 体 目 標 》

よく学び、よく遊ぶ子ども

思いやりのある、心豊かな子ども

心と体をきたえる子ども

### 《 目 指 す 学 校 像 》

子どもと教師、子ども同士の好ましい人間関係を保ち、  
子どもたちが生き生きと安心して自分の力を発揮できる学校。

①分かりやすい授業が展開され、  
じっくり、のびのびと、  
楽しく学習できる学校。



- ・ICT環境を活用した基礎的・基本的な学習内容の定着と体験型学習や協働学習の実践の継続。
- ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携。
  - ①基礎基本の定着。
  - ②学習意欲の向上。
  - ③学習規律の定着。
  - ④言語活動の充実。
  - ⑤保護者と連携した家庭学習の充実。
- ・基礎学力向上プロジェクトの推進。(朝学習・放課後学習)
- ・豊かな心を育む読書活動の推進・明るい歌声の響く学校づくり。

②相手の思いを感じながら、  
自らかかわり合える学校。



- ・どの児童にも居場所のある学校づくり。←Q-U検査の効果的な活用
- ・自己実現に向けてのキャリア教育の充実。
  - ①生活科・社会科での「地区探検」「農家の仕事」の学習。
  - ②総合学習・特別活動での「職業体験」等の学習。
  - ③清掃活動、愛校作業、栽培活動の実践。
- ・教育活動全体で行う道徳教育の要として、道徳の授業の充実。
- ・いじめ問題等の未然防止、早期発見、早期対応。

③体育やスポーツに親しみ  
体力の向上に努める学校。



- ・運動好きな児童の育成のための計画的な体力づくりの実践。
  - ①教科体育の充実→効率よい体育授業の設計。
  - ②体育的行事と連携させた活動(運動会・持久走大会)。
  - ③各種検定会の取り組みの促進(一輪車・縄跳び)。
- ・規則正しい生活リズムの定着(自己管理能力の育成・メンテック)。
- ・安全教育の充実と危機管理の意識化。

④家庭・地域との連携を深め、  
開かれた学校・信頼される学校。



- ・地域の自然・歴史・文化を活用した「ふるさと学習」の展開。
  - ①学校林活動を活かした教育の実践。
- ・地域人材の教育活動への積極的活用、参加促進。
- ・教育活動や学校評価の公表による地域公開の促進
  - ①授業参観や学校だより等を活用した啓発。
- ・地域総参加で児童の健全育成を図る「神小教育懇談会」の開催。

⑤教職員が常に研修に励み、  
新たな指導法が工夫される学校。



- ・授業でのICT機器の効果的な活用方法の研究・実践。
- ・学校間ネットワーク交流授業・合同授業の研究実践の継続。(三校連携活動・ICT機器の活用)
- ・「甲州市ティーチャーズノート」の活用。
  - ①授業の構造化。
  - ②板書の工夫。
  - ③Q-U検査を活用した授業実践。
- ・教職員自ら地域についての理解を深め、地域に根ざした教育実践展開のための研修の実施。

⑥新型コロナウイルス感染症対策



- ・子ども達の安全を守るため、マスク、うがい手洗い、消毒、ディスタンスなど、感染対策の徹底
- ・子ども達の学びや学校の営みをできるだけ継続していくための工夫や努力
- ・ICT機器の効果的な活用とその研究実践